

# 世界史

# 世界史

**第1問** 20世紀における人の移動について述べた次の文A～Cを読み、下の問い(問1～10)に答えよ。

A 征服や戦争による領土の変更は、人々の移動の大きな原因の一つとなる。12世紀に始まる東方植民以来、ドイツ人はエルベ川の東方に大規模な移住を行い、その後その地に成立した  (のちのプロイセン公国)を母体とするプロイセン王国が主導して、1871年にドイツ帝国が誕生した。<sup>a</sup>20世紀初めのドイツ帝国は、その領土が現在のポーランドの西半を含むほどに広大なものであった。

しかし、第一次・第二次世界大戦に敗北した結果、ドイツはオーデル川以東の領土を失った。また、チェコスロヴァキア西北部の  など、ヒトラー時代に併合した各地にはドイツ人が移り住んでいたが、これらもすべて敗戦で喪失した。

東アジアでも、<sup>b</sup>満州国建設後に開拓団員として大陸に渡った日本人は、敗戦後に土地を追われ、その多くが引揚者として日本に帰国した。

**問1** 空欄 ・ に入る語句の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- |   |            |           |
|---|------------|-----------|
| ① | アーリトアニア大公国 | イーダンツィヒ   |
| ② | アーリトアニア大公国 | イーズデーテン地方 |
| ③ | アードイツ騎士団領  | イーダンツィヒ   |
| ④ | アードイツ騎士団領  | イーズデーテン地方 |

**問2** 下線部<sup>a</sup>に関連して、20世紀初頭(第一次世界大戦直前)のドイツの領土に含まれる地として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① シュレスヴィヒ・ホルシュタイン
- ② パンノニア
- ③ アルザス・ロレーヌ
- ④ シュレジエン

問3 下線部⑥に関連して、満州国成立前後の中国に関する次の年表中の空欄( X )に入る事項として誤っているものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 3

1926年 北伐開始 ( X )
1932年 満州国成立
1937年 日中戦争勃発

- ① 柳条湖事件                      ② 張作霖爆殺事件(奉天事件)  
 ③ 五・四運動                      ④ 上海クーデタ

B 20世紀最大の移住の一つは、<sup>㉓</sup>ユダヤ人のパレスチナへの移住であった。パレスチナにユダヤ人国家を建てようというこの運動は ウ と呼ばれ、第二次世界大戦後の1948年、イスラエルの建国で一応結実した。20世紀、ユダヤ人への迫害はとりわけナチス支配下のドイツで激化していた。多くのユダヤ人がヨーロッパ各地につくられた強制収容所へと移送され、相対性理論を唱えた物理学者 エ のように、迫害を避けて亡命を選んだユダヤ系住民もあった。

しかし、イスラエルの建国はアラブ人勢力の猛反発を招き、パレスチナ戦争(第1次中東戦争)を生じさせた。この戦争の結果、100万人以上ものパレスチナ難民が発生したことも忘れてはならないだろう。その後の<sup>㉔</sup>イラン＝イラク戦争や湾岸戦争でも、多くの難民が近隣諸国に逃れた。戦争による難民の発生は、近年とりわけ深刻さを増しつつある。

問4 空欄 ウ ・ エ に入る語句の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 4

- ① ウーサンディカリズム              エーアインシュタイン  
 ② ウーサンディカリズム              エーライプニッツ  
 ③ ウーシオニズム                      エーアインシュタイン  
 ④ ウーシオニズム                      エーライプニッツ

問5 下線部③に関連して、ユダヤ人(ヘブライ人)とパレスチナの歴史について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 5

- ① ヘブライ人はダヴィデ王に率いられてエジプトを脱出し、パレスチナに国を建てた。  
 ② ユダ王国は新バビロニア(カルデア)に滅ぼされ、バビロン捕囚が行われた。  
 ③ パレスチナに現れたイエスは、ユダヤ人は神から選ばれた民族であると説いた。  
 ④ 十字軍は、パレスチナのイェルサレム王国を滅ぼした。

問6 下線部④に関連して、この2つの戦争に関係した、当時のイラクの指導者として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① サダム＝フセイン                      ② サダト  
③ インディラ＝ガンディー              ④ ティトー

C 人々が移動する際に障害となるものの一つが「国境」の存在であるが、20世紀にはその国境の垣根を低くする試みも行われている。⑤米ソの台頭と第一次・第二次世界大戦による打撃で主導的地位を失ったヨーロッパでは、地域統合によって経済再生と復権をめざす動きが現れ、⑥約半世紀におよぶ各国の努力によって統合が深化した結果、1993年にはヨーロッパ連合(EU)が成立して、人やものの自由な域内移動がほぼ実現した。なお、当初ヨーロッパ統合に反発していた  は、1973年にヨーロッパ共同体(EC)に参加したが、2020年にEUを離脱した。

近代化の進展とともに、先進国の文化や技術を学んで母国の発展に活かそうとする「留学」も盛んとなった。辛亥革命前後には、のちに中華人民共和国の初代首相となる  をはじめ、⑦陳独秀や魯迅など、多くの中国人留学生在が日本で学んだ。

問7 空欄  ・  に入る語句の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① オーフランス      カー康有為  
② オーフランス      カー周恩来  
③ オーイギリス      カー康有為  
④ オーイギリス      カー周恩来

問8 下線部⑥について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① アメリカ合衆国は、19世紀末に世界一の工業国になった。  
② アメリカ合衆国は、国際連盟の常任理事国となった。  
③ ソ連は、ロシア革命を主導し、成功に導いた。  
④ ソ連は、全国産業復興法(NIRA)を發布して、世界恐慌をのりこえた。

問9 下線部⑦に関連して、第二次世界大戦後のヨーロッパ統合の動きに関する説明として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① ヨーロッパ石炭鉄鋼共同体(ECSC)が結成された。  
② オタワ連邦会議が開かれた。  
③ マーストリヒト条約が結ばれた。  
④ 単一通貨であるユーロが導入された。

問10 下線部㉔について述べた次の文 **a** と **b** の正誤の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。

**a** 陳独秀は、新文化運動を指導した。

**b** 魯迅は、『阿Q正伝』を著した。

① **a**－正      **b**－正              ② **a**－正      **b**－誤

③ **a**－誤      **b**－正              ④ **a**－誤      **b**－誤

**第2問** 中国史に現れる夏・周・漢の諸王朝について述べた次の文A～Cを読み、下の問い(問1～10)に答えよ。

A 前漢時代の歴史家である  の『史記』によれば、夏は禹に始まり、17人の王が続いた後、殷(商)に滅ぼされたとある。従来、夏や殷は伝説上の王朝とされてきたが、20世紀初めの<sup>a</sup>殷墟の発掘などによって殷が実在したことが明らかになると、夏の実在性も盛んに議論されるようになり、それを証明する遺跡や遺物の探索が進められている。

中国史上にはその後、夏の末裔や後継とされる民族、あるいは夏を名のる数々の王朝が現れた。『漢書』などの史書には、秦や漢に対抗した遊牧民である  の先祖も、夏の建国者の一族と関係があると記されているが、確証は乏しい。五胡十六国時代には、赫連勃勃なる人物が夏と称する国を建てたが、<sup>b</sup>北魏に滅ぼされた。また<sup>c</sup>11世紀には西夏(大夏)が建国され、中国王朝を圧迫した。

**問1** 空欄  ・  に入る語句の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① アー司馬遷      イー匈奴
- ② アー司馬遷      イー突厥
- ③ アー司馬光      イー匈奴
- ④ アー司馬光      イー突厥

**問2** 下線部<sup>a</sup>について述べた次の文 a と b の正誤の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。

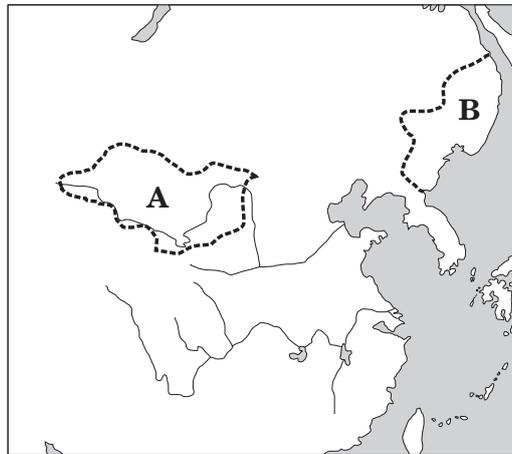
- a 殷墟は殷の都の遺跡で、長江下流に位置する。
- b 殷墟からは、多くのすぐれた鉄製品が出土した。

- ① a－正      b－正              ② a－正      b－誤
- ③ a－誤      b－正              ④ a－誤      b－誤

**問3** 下線部<sup>b</sup>について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 契丹(キタイ)によって建てられた。
- ② 首都は長安におかれた。
- ③ 孝文帝は均田制を行った。
- ④ 院体画の様式が生まれた。

問4 下線部㉔に関連して、西夏(大夏)のおよその位置を示した次の地図中のA・Bと、西夏に関する説明X・Yとの組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 14



- X 女真文字が使用された。  
 Y モンゴル民族に滅ぼされた。

- ① A-X      ② A-Y      ③ B-X      ④ B-Y

B 前11世紀頃の武王の時代に殷を滅ぼした周は、各地に諸侯を封じてこれをおさめさせたが、その後諸侯の強大化や反乱、周辺民族の侵入などで王権は衰退し、犬戎の侵入を機に首都を東方の ウ に移動させた後、<sup>㉔</sup>春秋・戦国時代の大変動の中で滅亡した。

武王の父である文王はきわめて徳の高い人物とされ、諸侯たちの信頼も大きかった。武王の弟周公旦しゅうこうたんは魯の建国の祖とされ、春秋時代末期に魯から出た孔子は、周公旦や周を理想の指導者や王朝として高く評価した。それもあってか、その後も中国には周という名の王朝が多く登場した。7世紀末に一時皇帝となった エ が、周と称したことはよく知られている。<sup>㉔</sup>南北朝時代や五代十国時代にも、周と号する王朝が現れている(北周、後周)。

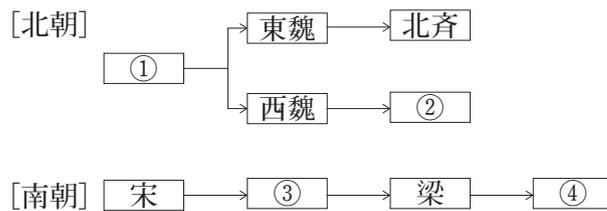
問5 空欄 ウ ・ エ に入る語句の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 15

- ① ウー咸陽      エー西太后  
 ② ウー咸陽      エー則天武后  
 ③ ウー洛邑      エー西太后  
 ④ ウー洛邑      エー則天武后

問6 下線部④について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 16

- ① 青銅の貨幣が使用された。
- ② 占城稲が導入された。
- ③ 行や作と呼ばれる同業組合ができた。
- ④ 景德鎮などで、陶磁器生産が盛んとなった。

問7 下線部⑤に関連して、北周の入る位置として正しいものを、次の南北朝時代の王朝交替図(矢印は王朝交替の流れを表す)中の①～④のうちから一つ選べ。 17



C 前3世紀末に成立し、王莽の乱による短い中断期間をはさんで約400年、一貫して **オ** 氏を皇帝とする政権が継続した **f** 漢の時代は、政治的にも文化的にも、中国の国家体制の基本的枠組みが形成された時代であった。現在でも「漢字」「漢民族」というように、「中国」を意味する語として「漢」を用いるのはそのためであるといえよう。

漢の滅亡後も、漢の皇帝と同姓の人物が建てた国では、しばしば漢の国号が名のられた。たとえば、3世紀の三国時代に四川に建国された **カ** は、建国者が漢の後継を自認し、実際には漢を名のっている。また、五胡十六国時代の前趙(初め漢と号した)や、10世紀半ばの五代の後漢なども、漢の皇帝と同姓の人物が建てた王朝である。**g** 明代中期の15世紀半ばにおける混乱期にも、わずか1年ほどではあったが、流民の首領(やはり漢の皇帝と同姓)によって、湖北省を中心に漢を称する王朝が建てられたことがあった。

問8 空欄 **オ** ・ **カ** に入る語句の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 18

- ① オー劉 カー呉
- ② オー劉 カー蜀
- ③ オー李 カー呉
- ④ オー李 カー蜀

問9 下線部㉔に関連して、漢代(前漢・後漢)における政治的・文化的事績について述べた文として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 19

- ① 南越を滅ぼし、華南を支配した。
- ② 蔡倫によって、製紙法が改良された。
- ③ 儒学が官学とされ、経典として五経が定められた。
- ④ 異民族の居住地域に、藩部が設置された。

問10 下線部㉕に関連して、この時期の明の混乱に含まれる事件として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 20

- ① 靖康の変                      ② 紅巾の乱
- ③ 北虜南倭                      ④ 豊臣秀吉の朝鮮侵攻(壬辰・丁酉倭乱)

**第3問** ヨーロッパ史における主要民族であるゲルマン人・スラヴ人・ケルト人について述べた次の文A～Cを読み、下の問い(問1～10)に答えよ。

A ゲルマン人は居住地であるバルト海方面から居住地を南に広げ、4世紀にはドナウ川を渡ってローマ帝国領内に大移動を開始した。大移動前のゲルマン人社会については、ローマ帝国時代に著された  の『ゲルマニア』などの文献からうかがい知ることができる。

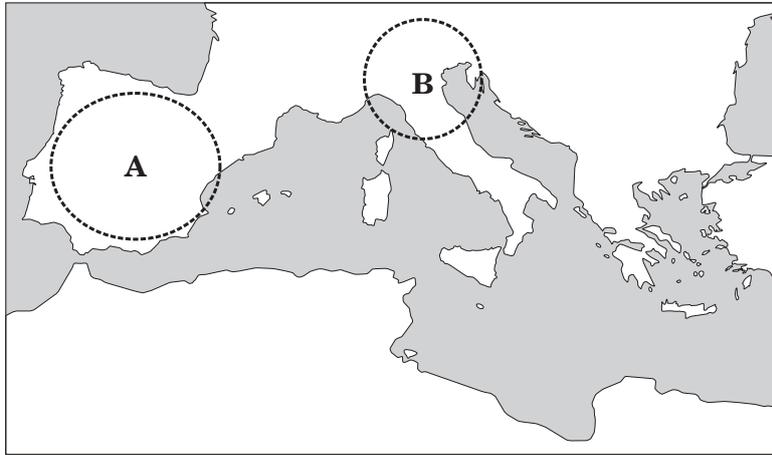
大移動後、<sup>a</sup> ゲルマン人は主として旧西ローマ帝国領に建国したが、その多くは短命に終わった。しかし、この大移動の過程でゲルマン文化とローマ文化の融合が進んだ。

やや遅れて移動を開始し、 の異名で知られるノルマン人もゲルマン人の一派である。また、フランク王国時代に現在の<sup>b</sup> オランダを中心に活発な交易活動を繰り広げたフリース人(フリジア人)のように、今なお少数民族として生き残るゲルマン系民族も存在する。

**問1** 空欄  ・  に入る語句の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① アープリニウス      イーヴァイキング
- ② アープリニウス      イーコサック
- ③ アータキトゥス      イーヴァイキング
- ④ アータキトゥス      イーコサック

問2 下線部㉔に関連して、ゲルマン人国家のうち、次の地図中のAはウマイヤ朝に滅ぼされ、Bはフランク王国のピピン(小ピピン)に敗れてラヴェンナなどを失った。地図中のA・Bの国名の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 22



- ① Aーヴァンダル王国      Bーランゴバルド王国
- ② Aーヴァンダル王国      Bーブルグンド王国
- ③ Aー西ゴート王国        Bーランゴバルド王国
- ④ Aー西ゴート王国        Bーブルグンド王国

問3 下線部㉕に関連して、オランダの歴史について述べた文として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 23

- ① スペインと独立戦争を戦った。
- ② ユトレヒト条約で、独立が国際的に承認された。
- ③ 江戸時代の日本と、出島で貿易を行った。
- ④ ウィーン会議で、南ネーデルラント(ベルギー)を獲得した。

**B** カルパティア山脈北部を原住地としていたスラヴ人は、6世紀頃から移動を開始した。移動の原因は東方から進出した  人の圧迫によるとされるが、 人は8世紀末、フランク王国のカルル大帝(シャルルマーニュ)に討たれて衰えた。

移動後、スラヴ人は東ヨーロッパからバルカン半島に居住地を拡大し、東スラヴ人・西スラヴ人・南スラヴ人に大別されるようになった。東スラヴ人および南スラヴ人の多くは、㉓ビザンツ帝国の影響下にギリシア正教を受容したが、 人などの西スラヴ人および南スラヴ人の一部は、神聖ローマ帝国とのかかわりが強いため、ローマ＝カトリック教徒が多い。前者は ㉔キリル文字、後者はローマ字(ラテン文字)を使用する。

19世紀のナショナリズム高揚期には、スラヴ人の連帯をめざすパン＝スラヴ主義の思想が盛んとなったが、これは ㉕南下政策を推進するロシアに利用されることとなった。

**問4** 空欄  ・  に入る語句の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① ウーアヴァール      エーチェック
- ② ウーアヴァール      エーセルビア
- ③ ウーマジャール      エーチェック
- ④ ウーマジャール      エーセルビア

**問5** 下線部㉓に関連して、ビザンツ帝国とギリシア正教について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① ビザンツ皇帝レオン3世は、国王至上法(首長法)を發布した。
- ② ビザンツ帝国の首都コンスタンティノープルは、現在のイスタンブルにあたる。
- ③ ギリシア正教は、『アヴェスター』を教典とする。
- ④ ギリシア正教は中国に伝わり、祆教と呼ばれた。

**問6** 下線部㉔に関連して、現在、これと同様の文字を一般的に使用している国として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① ロシア                      ② トルコ
- ③ サウジアラビア          ④ ギリシア

問7 下線部⑥に関連して、ロシアの南下政策に関する次のa～cの出来事が、年代の古いものから順に正しく配列されているものを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。 27

- a 第1次バルカン戦争
- b サン＝ステファノ条約の締結
- c アゾフ海進出

- ① a → b → c                      ② a → c → b                      ③ b → a → c
- ④ b → c → a                      ⑤ c → a → b                      ⑥ c → b → a

C ケルト人は、かつてはヨーロッパのほぼ全域に居住し、<sup>④</sup>前3世紀にはアナトリア(小アジア)にも侵入した民族である。彼らは鉄製武器と戦車を駆使して各地を征服したが、前1世紀頃からケルト人は他民族や国家に圧迫され、やがてその支配下に入っていった。ガリア(現在のフランス付近)のケルト人は、前1世紀半ばには オ によって征服されてローマの支配下におかれ、同化されていった。

ケルト人は大ブリテン島やアイルランドにも渡ったが、これらもほとんどがローマやゲルマン人の侵入などでそれらに同化された。『カ』は、侵入するゲルマン人と戦うケルト系王を中心とした騎士道物語で、12世紀に完成された。近年、アイルランドやウェールズなどでケルト文化復興の動きが高まりつつある。<sup>⑧</sup>アイルランドの完全独立を唱える民族主義政党が、「我ら自身」を意味するアイルランド語を党名に使用しているのもその現れであろう。

問8 空欄 オ・カ に入る語句の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 28

- ① オートラヤヌス帝      カーカンタベリ物語
- ② オートラヤヌス帝      カーアーサー王物語
- ③ オーカエサル          カーカンタベリ物語
- ④ オーカエサル          カーアーサー王物語

問9 下線部㉔に関連して、古代のアナトリアについて述べた文として正しいものを、次の①～

④のうちから一つ選べ。 29

- ① シュメール人が、ウルなどの都市国家を建てた。
- ② ヒッタイト人の王国は、バビロン第1王朝に滅ぼされた。
- ③ リディア(リュディア)では、最古の金属貨幣が作られた。
- ④ アナトリアのサルデス(サルディス)は、アッピア街道の終点であった。

問10 下線部㉕に関連して、1905年に成立したこの政党の名称として正しいものを、次の①～

④のうちから一つ選べ。 30

- ① ワフド党
- ② タキン党
- ③ シン＝フェイン党
- ④ バース党

**第4問** 16世紀に始まる「大交易時代」につながる世界貿易の変化について述べた次の文A～Cを読み、下の問い(問1～10)に答えよ。

A かつて世界交易は<sup>a</sup>「草原の道」や「オアシスの道(シルク＝ロード)」による陸上交易を軸として展開されていた。一方、海上では古代から「海の道」を利用した交易が活発に行われた。10世紀頃になると、中国商人が「ア」船を利用し、南シナ海で活発な活動を展開した。やがて海上には中国・朝鮮・日本・琉球などを結ぶ交易ネットワークが形成され、様々な人やもの、情報が行き来することとなった。

<sup>b</sup>15世紀前半に明の鄭和による南海諸国遠征が行われると、その根拠地とされた東南アジアの「イ」が大きく繁栄した。

**問1** 空欄「ア」・「イ」に入る語句の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 31

- ① ア＝ジャンク      イ＝マラッカ王国
- ② ア＝ジャンク      イ＝扶南
- ③ ア＝ガレオン      イ＝マラッカ王国
- ④ ア＝ガレオン      イ＝扶南

**問2** 下線部<sup>a</sup>について述べた文として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 32

- ① 「草原の道」は、モンゴル高原などを經由する。
- ② 「草原の道」では、スキタイなどの騎馬遊牧民が活動した。
- ③ 「オアシスの道」は、サマルカンドやペルセポリスなど中央アジアのオアシス都市を結ぶ。
- ④ 「オアシスの道」を利用して、中国産の絹などが西方に運ばれた。

**問3** 下線部<sup>b</sup>に関連して、鄭和の南海諸国遠征と同時期に行われた出来事として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 33

- ① ピサロがインカ帝国を滅ぼした。
- ② ベトナムでは中国軍を撃退し、黎朝が成立した。
- ③ イタリア戦争が終結した。
- ④ イブン＝バトゥータが大旅行を行った。

B イスラーム勢力は、㉔北インドをイスラーム化し、さらに東南アジア各地にも布教を開始した結果、インド洋は「ムスリムの海」となった。ムスリム商人はすでに唐代の中国にも来航し、南部の港市である ウ などでの交易を行ったことが知られている。アフリカ大陸東岸でもムスリム商人の寄港が増加し、現地の文化とイスラーム文化が融合して、エ 文化と呼ばれる独自の文化が形成された。

㉔10世紀の政治的混乱を背景として、インド洋西部の交易はそれまでのペルシア湾ルートにかわって紅海を経由するルートへと変化していった。 ㉔インドから運ばれた貿易品は、紅海やナイル川を通じて地中海岸にもたらされたが、やがてこの交易にイタリア商人が参入するようになった。

問4 空欄 ウ・エ に入る語句の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 34

- ① ウ—広州      エ—スワヒリ
- ② ウ—広州      エ—ドンソン
- ③ ウ—上海      エ—スワヒリ
- ④ ウ—上海      エ—ドンソン

問5 下線部㉔に関連して、次の北インドのイスラーム化に影響を与えた出来事 **a**・**b**と、イスラーム王朝名 **X**・**Y**との組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。

35

北インドのイスラーム化に影響を与えた出来事

- a** 12世紀にアフガニスタンに成立したイスラーム王朝は、北インドにしばしば侵入した。
- b** 13世紀、アイバクによって北インドに最初のイスラーム王朝が建てられた。

イスラーム王朝名

**X** サーマーン朝      **Y** 奴隸王朝

- ① **a**—**X**      ② **a**—**Y**      ③ **b**—**X**      ④ **b**—**Y**

問6 下線部①について述べた次の文中の空欄  ・  に入る語句の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。

946年に  朝がアッバース朝の首都バグダードを占領したことを背景として、北アフリカの  がイスラーム世界の中心になった。

- ① オーセルジューク      カーカイロ      ② オーセルジューク      カーコルドバ  
③ オーブワイフ      カーカイロ      ④ オーブワイフ      カーコルドバ

問7 下線部②に関連して、このルートをほぼ独占して貿易を行った商人団の呼び名として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① カーリミー商人      ② 山西商人  
③ 新安商人      ④ ソグド商人

C 地中海交易は、<sup>f</sup>ローマ帝国の衰退やイスラーム勢力の北アフリカ・イベリア半島進出などによって、ながらく縮小していたが、11世紀頃から都市経済の活発化にともなって復活の傾向が生じた。ムスリム商人の活動に刺激されたヴェネツィアや  などイタリア諸都市の商人は、インド洋交易の西端とリンクする地中海交易に進出し、競って交易ルートの確保をはかった。この地中海商業圏はやがて<sup>g</sup>北海・バルト海交易圏とも結合し、イタリア商人は一時ヨーロッパにおける商業覇権を握ったが、15世紀に入ると、地中海交易圏の辺縁に位置する諸国の経済活動が活発化した。ポルトガルはアフリカ南端を迂回<sup>うかい</sup>してインド洋に進出し、インド西部の  を拠点として、アジアの交易ネットワークへの参入をはかった。次いでスペインがアメリカ大陸からアジアを結ぶ交易ルートを開拓した。これらによって南シナ海・インド洋・地中海および大西洋が一つに結びついたグローバルな交易圏が誕生し、16世紀の大交易時代を迎えるのである。

問8 空欄  ・  に入る語句の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① キーリュベック      クーゴア  
② キーリュベック      クーバタヴィア  
③ キージェノヴァ      クーゴア  
④ キージェノヴァ      クーバタヴィア

問9 下線部㉔について述べた次の文 a と b の正誤の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 39

- a ローマ帝国末期には、事実上皇帝不在の「大空位時代」が続いた。  
b ウマイヤ朝は、イベリア半島を征服して、アルハンブラ宮殿を建設した。

- ① a－正    b－正                    ② a－正    b－誤  
③ a－誤    b－正                    ④ a－誤    b－誤

問10 下線部㉕について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 40

- ① 主として香辛料などの奢侈品が取引された。  
② フランドル地方の都市からは毛織物が輸出された。  
③ 北ドイツのロンバルディア同盟の諸都市が貿易をとりしきった。  
④ ロシアは、エカチェリーナ2世時代からバルト海に進出した。

(世界史の問題は終わり)